Waseda University Doctoral Student Network (WUDSN)

中国における日本企業の収益性とその決定要因について

劉曙麗(Liu Shuli)

PhD Student & GIARI Research Assistant at Graduate School of Asia-Pacific Studies (GSAPS), Waseda University.

本報告は、中国の個票データベースから日本企業を選別し、独自のデータベースを構築する事により、計量の手法で、以下の課題を分析したものである：

①日系企業の収益性は、中国における中華系･外資系と比べ、どのようなレベルになっているか、

②日系企業の収益性は、どのような要因に決定されているのか。

③さらに、全体として分析できない生産工程別に産業限定で実証分析を行う。

実証分析から得た知見を活かし、日系企業の中国での収益性の向上にも改善法を提示してくれると思われる。特に産業別、生産工程別による細かい分析により得た結果から、日系企業がそれぞれの状況を踏まえて戦略を立てるのにも参考となるだろう。さらに日本企業の海外進出、海外生産経営をサポートする政府関連機関にも政策インプリケーションにも役に立てる研究と思われる。

Date： **Thursday, July 14th, 2011**

Time： **13:00~15:00**

Venue： **Waseda University, Building No.19, Room 310**

Discussant： 杜進 **(DU, Jin)** 拓殖大学国際学部教授

Presentation in **Japanese** (日本語; No Interpreter)

Admission Free / No Pre-Registration Required

Organized by: Waseda University Doctoral Student Network (WUDSN)
<www.waseda-giari.jp/jpn/wudsn/index_e.html>
Supported by: Global Institute for Asian Regional Integration (GIARI)